

マイクロバブル攪拌による 生産プロセスの革新

特許出願済

ベ ス テ ム

BESTM



マイクロバブル攪拌によるメリット

反応の均一化

→ 外観品質の向上

反応時間の短縮

→ 処理工程の高速化

攪拌の安定化

→ 効率的な反応を促進

液コストの削減

→ 液の更新サイクルの長寿命化

排水負荷の軽減

→ 環境への負荷低減

※ クロメート処理工程による実績

商品ラインナップ

[標準型、窒素搭載型の2種ございます。]

型 式	MB吐出量	ノズル	対象水量	電 源	消費電力	外径寸法
KA96-0.4S1-SD-A	96L/min	2個	1-3t	単相100V	0.4kW	W240xD332xH391
KA48-0.4S1-SD-B	48L/min					
KA70-0.2S1-SD-A	70L/min		1-2t	単相100V	0.26kW	W210xD332xH370
KA40-0.2S1-SD-B	40L/min					
KA96-0.4S1-WC-N2-A	96L/min		1-3t	単相100V	0.4kW	W700xD310xH910
KA48-0.4S1-WC-N2-B	48L/min					

※ 装置仕様は、予告無しに一部変更することがあります。

※ MB吐出量は、周波数60Hzで使用したときの値です。

※ 対象水量はあくまで想定水量です。対象工程、プロセスにより大きく変わります。



高速回転式
マイクロバブル
ノズル



応用分野…

各種めっき

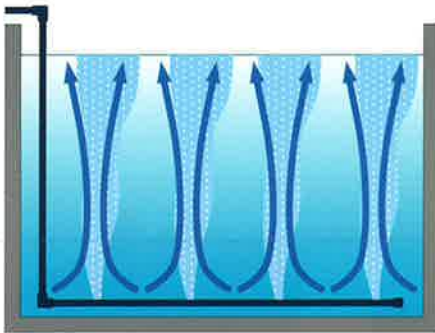
化成処理

浮上分離

解乳化

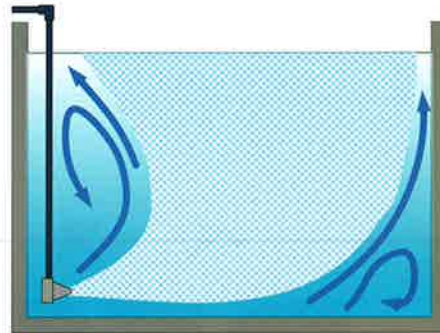
マイクロバブルによる処理槽の攪拌状況

<従来のバブリングによる流動状況>



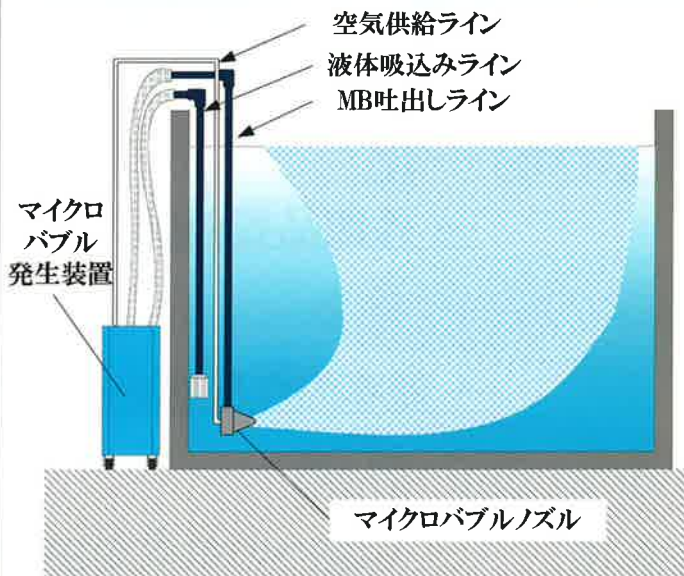
- ・攪拌ムラが多い
- ・上昇流が強すぎる
- ・攪拌の調整が難しい
- ・バレル内部に液が届きにくい

<マイクロバブルによる流動状況>



- ・槽内が均一に攪拌!
- ・攪拌ムラが少ない!
- ・攪拌流が適度!
- ・攪拌の調整が容易!
- ・バレル内部に液が届きやすい!

生産ラインへの設備導入方法



- ・処理槽の横にマイクロバブル発生装置を設置し、循環ラインを構築するだけで、既存の横引きエア配管が不要となります。
- ・既存設備を利用する為、電源工事、配管工事が簡単です!
- ・マイクロバブルの均一な攪拌により排水負荷と更新コストの低減が見込めます。

お客様の疑問にお答えいたします!

? 本当に効果があるの?

当社では、レンタル用装置をご用意しております。実際にお試しいただき、検討することができます。また、サンプルをご試供いただければ、当社内で可能な範囲で簡易テストも行います。



? 既存設備に合うの?

お客様のご使用環境に合わせ、機種や仕様を選択することが可能です。ご検討の工程条件・使用環境を教えてください、目的に沿った技術回答をさし上げます。

お気軽にご相談ください!



Total Engineer Company

関西オートメ機器株式会社

TEL : 077-545-6851 FAX : 077-543-0584

URL : <http://www.tec-kak.co.jp>

e-mail : info@tec-kak.co.jp

代理店